

日本ピラミッド？

倉造山国有林

廣島北部森林管理署

ピラミッドといえば、エジプトや

メキシコの石を積み上げた四角錐のものを誰もが想像すると思いますが、昭和九年ピラミッド研究家の酒井勝軍氏が広島県比婆郡（現庄原市）の山中に入り、「この山は二万三千年前、神武天皇以前のウガヤ王朝時代に建造されたピラミッドである」と宣言したのが、倉

造山国有林内に西側半分がある葦嶽山（標高八一五m）で、日本で最初に発見されたピラミッド（比



葦嶽山

彌廣殿）といわれています。

倉造山国有林は、広島県北東部の庄原市にあり、面積は三五三ヘクタールで、ピラミッドと言われている葦嶽山付近の天然林一九八ヘクタールが森林と人の共生林、自然維持タイプに指定されています。

葦嶽山は、どの方向から見ても三角形に見え、昔から神武天皇陵と言いつたえられ、その神秘的な山容と巨石群は古代遺跡の謎とされていたといわれています。

昭和九年の調査の結果、葦嶽山の山頂からは、太陽石と磐境が発掘されたことから、「世界最古のピラミッドの本殿で、北側の鬼叫山が拝殿である」と発表されたとい

います。太陽石は、環状列石の形をして一六の列石が囲んでおり、その形状から「皇室の紋章の原点である」との説もあります。

尾根続き北側の拝殿といわれる鬼叫山には、古代文化の巨石信仰

の跡といわれる数々の巨石遺構が残っており、「獅子岩」、石の切れ目が見え、幅四・五m、高さ三・六mの巨大な「鏡岩」、神武岩といわれている「メンヒル」（ブルターニュ語で長い石の意）大石柱、供物台といわれる「ドンメル」（もとケルト語で石卓の意）があります。



供物台（上）
大石柱（左）



鏡岩は、平滑な岩面が日、月光を反映し「輝く神」として信仰の拠点とされ、大石柱はその前衛として神の摂理をしめす偉観であったといわれています。

鏡岩は、平滑な岩面が日、月光を反映し「輝く神」として信仰の拠点とされ、大石柱はその前衛として神の摂理をしめす偉観であったといわれています。葦嶽山には二つの登山ルートがありますが、二〇〜三〇分程度で山頂に行けますが、遊歩道沿いには様々な樹木が植栽されており、春には花が咲き、秋は紅葉など、四季折々の表情が楽しめることから、ハイキング、森林浴の場として親しまれ、また、現代人の心を謎とロマンの世界に誘って、多くの人が訪れています。

〒七二八・〇〇二二
広島県三次市十日市中二・五・一九
TEL 〇五〇・三一六〇・一〇〇〇
FAX 〇八二四・六二・二二五六
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hokubu/>